

# レンタルサーバー選びのチェック表

レンタルサーバーの選び方 ～ 厳選おすすめサーバーを比較紹介

<https://www.tagindex.com/topics/choose-rentalserver/>

TAG index

項目	説明	備考
スペック		
Webサーバーの種類	<p>重要度：中（WordPressを使用する場合は高）</p> <p>Webサーバーの種類には、<b>Apache</b>、<b>nginx</b>、<b>Lite Speed</b>などがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Apache</b>（アパッチ）：古くから利用されてきた従来型のWebサーバー。信頼性が高く、現在でも多くのレンタルサーバーで使用されています。</li> <li>• <b>nginx</b>（エンジンエックス）：Apacheよりも高速とされ、高負荷耐性に優れています。現在は世界シェアでトップ。※Apacheと併用されていることが多いです。</li> <li>• <b>LiteSpeed</b>（ライトスピード）：nginxよりも更に高速とされ、高負荷耐性に優れています。国内シェアは少なめ。</li> </ul> <p>WordPressを導入する場合は、<b>nginx</b>か<b>LiteSpeed</b>がおすすめです。</p>	
ストレージの種類	<p>重要度：高</p> <p>ストレージの種類には、<b>HDD</b>、<b>SSD</b>、<b>NVMe SSD</b>があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>HDD</b>：古くから利用されてきたものの、現在ではHDDを使用しているレンタルサーバーは少なくなっています。</li> <li>• <b>SSD</b>：HDDよりも高速。現在主流のストレージとなっており、多くのレンタルサーバーで使用されています。</li> <li>• <b>NVMe SSD</b>：通常のSSDよりも更に高速で、高速性を重視したサーバー（プラン）で使用されていることがあります。</li> </ul> <p>WordPressを導入するかどうかに関わらず、<b>SSD</b>か<b>NVMe SSD</b>のストレージの利用をおすすめします。</p>	

項目	説明	備考
容量	<p>重要度：高</p> <p>主要なレンタルサーバーでは、<b>300GB</b>~の容量を持つケースが多いです。一般的なサイト（ブログ）であれば、このくらいの容量があれば十分です。</p> <p>格安サーバーでは容量が少なくなりますが、個人が趣味で運営するのであれば（容量的には）20~30GB程度でもいけると思います。</p>	
転送量の制限	<p>重要度：中</p> <p><b>無制限</b>であることが望ましいですが、制限がある場合でもよほどの人気サイトでなければ問題になるケースは少ないです。</p>	
メモリ	<p>重要度：中</p> <p>メモリの容量はサーバーの価格帯に比例します。低価格帯で<b>4GB</b>前後、中・上位プランで<b>8GB</b>前後、ビジネス向けのプランで<b>12GB</b>~が目安となります。</p>	
機能		
WordPressの利用	<p>重要度：WordPressを使用する場合は<b>必須</b></p> <p>多くのサーバーで利用が可能ですが、格安サーバーの中には利用できない場合もあるので注意が必要です。</p>	
WordPressの簡単インストール	<p>重要度：WordPressを使用する場合は<b>高</b></p> <p>サーバーによっては、<b>WordPressの簡単インストール機能</b>が備わっている場合があります。</p> <p>実際に使用してみると本当に簡単にインストールできるため、WordPressを利用する際にはこの機能が備わっているサーバーがおすすめです。</p>	

項目	説明	備考
自動バックアップ	<p>重要度：高</p> <p>サイトのデータをバックアップする機能です。特にWordPressを使用している場合には重要な機能となります。</p> <p>多くのサーバーで利用が可能ですが、低価格帯のプランでは利用できない場合もあるので注意が必要です。</p> <p>復元方法はサーバーによって異なり、<b>1クリックで復元</b>できる場合と、<b>FTPによって手動で復元</b>しなければならない場合があります。</p>	
マルチドメイン	<p>重要度：中</p> <p>1つのサーバーで複数の独自ドメインを運用できる機能です（サブドメインとは異なります）。複数のサイトを運営する際には、この機能を利用することでサーバー代を抑えることができます。</p> <p>この機能は多くのサーバーで利用が可能ですが、設定できる独自ドメインの数はサーバーにより異なります（数個～無制限）。</p>	
無料SSL	<p>重要度：高</p> <p>無料でサイトのSSL化（https化）を行える機能です。ほとんどのサーバーで対応しています。</p> <p>一般的なサイトであれば無料のSSLで十分ですが、より信頼性を高めたい場合は、認証レベルの高い有料のSSL（年間数千円～10万円以上）を検討してください。</p>	

項目	説明	備考
メールアカウント数	<p>重要度：中</p> <p>サーバーにより、設定可能なメールアカウント（メールアドレス）の個数は異なります。</p> <p>無制限、または必要十分な個数が設定されている場合が多いですが、社員数の多い法人の場合はこの項目の確認が必要です。</p>	
MySQLの数	<p>重要度：中</p> <p>サーバーにより、利用可能なMySQL（データベース）の個数は異なります。</p> <p>一般的に、WordPress1つに対して1つのデータベースを使用することが多いため、複数のWordPressをインストールする場合はこの項目の確認が必要です。</p> <p>※無制限、または必要十分な個数が設定されている場合が多いです。</p>	
FTPアカウント数	<p>重要度：中</p> <p>サーバーにより、設定可能なFTPのアカウント数は異なります。</p> <p>複数のアカウントが設定できる場合は、サブアカウントに対してアクセス可能なディレクトリを制限することができます。</p> <p>外部の事業者に更新を依頼する際などには、サブアカウントがあると便利な場合があります。</p>	

項目	説明	備考
サービス		
サポートの種類	<p>重要度：中</p> <p>サポートの種類には<b>メールサポート、チャットサポート、電話サポート</b>があり、サーバーにより対応するサポートが異なります。</p> <p>低価格帯ではメールやチャットによるサポートのみ、上位プランでは電話サポートにも対応、といったケースが多いです。</p> <p>サポートの品質については実際に利用してみないと分からない点が多いため、サポートを重視する場合はネット上で口コミを検索してみることをおすすめします。</p>	
無料ドメイン	<p>重要度：中</p> <p>サーバーによっては、独自ドメインを無料で提供している場合があります。これは、「<b>そのサーバーを契約している間は独自ドメインの維持費が無料になる</b>」といったサービスになります（利用条件があります）。</p> <p>ドメインの更新費は毎年数千円程度かかるので、その費用を節約したい場合はこのサービスの利用を検討すると良いでしょう。</p>	
プランの変更	<p>重要度：中</p> <p>サーバーによっては、途中でプランを変更できる場合があります。このようなサーバーでは、「<b>まずは下位のプランで開始して、必要に応じて上位のプランに変更する</b>」といった運用が可能になります。</p> <p>上位のプランにのみ変更が可能な場合と、上位・下位のどちらのプランにも変更が可能な場合があります。</p>	

項目	説明	備考
無料お試し期間	<p>重要度：中</p> <p>多くのサーバーで<b>無料お試し期間</b>が設定されています（10～30日間程度）。このようなサーバーでは、実際に使用感を確認してから利用を開始することができます。</p> <p>サーバーのスペックによってはWordPressの動作が重く感じることもあるため、特に下位のプランでは事前に確認できることはメリットになります。</p>	